

平成29年4月～9月までの取組み状況(受託法人)

受託法人 ウエオ : 平成29年4月～9月までの取組み調査 22区(濃:H28.8～実施区)		北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	浪速	西淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成	集約
ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進の取組状況について	1:取組の実施状況 該当する選択肢番号を入力してください。 1. 既に実施している 2. H29年度中に実施予定 3. H30年度に実施予定 4. 現時点では未実施	1	1	1	2	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	2	3	4	1	4	1	3	1	1.15区 2.2区 3.2区 4.3区
	2. 主治医・副主治医制の導入・推進に向けた取組	4	1	4	2	3	4	4	1	2	1	3	4	3	3	1	4	4	4	4	4	4	4	1.4区 2.2区 3.4区 4.12区
	3. 在宅療養中の利用者の急変時診療医療機関や後方病床の確保に向けた取組	1	1	3	2	1	1	4	1	1	1	1	1	1	3	1	1	4	1	2	2	4	3	1.13区 2.3区 3.3区 4.3区
	4. 訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護St.との連携体制構築への取組	1	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	2	1	1	1	4	1	3	1	4	1	1.17区 2.1区 3.1区 4.3区
	5. その他(ウ)に該当すると思われる取組 (具体的に記載)	在宅医療・介護NW委員会開催(年4回) 在宅医療支援NW情報交換会開催(年1回)	がんサロン、町の保健室の検討			ICTによる休日・夜間のバックアップ体制「このはネット」の利用						Aケアカード、ブルーカード、在宅連携協議会	※1		多職種参加のICT事業を医師が実施している		今年度は医師・薬剤師・ケアマネジャーの連携を図る研修を実施予定			リストマップの改訂検討、SNS普及、認知症への取り組み	どらや会の参加・訪問看護管理者会参加		アンケート調査を実施	
全て項目で『4. 現時点では未実施』の理由	1. 実施方法が分からない 2. 実施するための人員体制が希薄 3. 医療・介護の関係団体等との意思疎通や調整がうまくできていない 4. 他の事業・取組を優先的に実施している 5. 取組の必要性が低い(具体的に記載) 6. その他(下欄に具体的に記載)							1, 2, 3										4, 6区内に在宅後方支援病院がない、診療連携が取れていない						
2:準備・調整中の場合、実施予定の内容や想定している内容について 1. あてはまる 2. あてはまらない	切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築推進について、行政職員や医療・介護関係者とともに検討している。	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1.20区 2.2区
2:準備・調整中の場合、実施予定の内容や想定している内容について 『1.あてはまる』の理由 1. あてはまる 2. あてはまらない	1. 在宅療養中の患者・利用者に対する、主治医を含む複数の医師による対応体制等の取組があり、かつ、取組について介護関係者(介護支援専門員等)と共有する仕組みができています。 2. 在宅療養中の患者・利用者に対する、急変時診療医療機関を確保する取組(後方病床の確保等)があり、かつ、取組について介護関係者(介護支援専門員等)と共有する仕組みができています。 3. 在宅療養中の患者・利用者に対する、訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護ステーションとの連携体制の構築に向けた取組があり、かつ、取組について介護関係者(介護支援専門員等)と共有する仕組みができています。 4. その他の取組がある。(具体的に記載)	1	1	2	1	1	2		2	1	2	2	2	2	2	2	2		1	2	2	2	2	1.6区 2.14区
		1	1	2	1	2	1		1	1	2	2	1	1	2	2	2		1	2	2	2	2	1.9区 2.11区
		1	1	1	1	2	1		1	1	1	2	2	1	1	2	2		1	2	1	2	1	1.13区 2.7区
					医療・介護連携シートの活用。「このはネット」の利用							多職種による事例検討会を通しての職種間の交流とネットワーク作り	※1		問1については検討中		在宅療養中の患者の内、特にリスクの高い患者に対して24時間連携のシステムがある			訪問看護管理者会に参加してケアマネとの交流の更なる必要性について検討中			医療機関へアンケートを実施、その結果から、考えていく予定	
																								※1 上記の取組は医療職を中心に行っており、介護関係者との共有はその次の課題である ・こぶしネット(三師会・行政・民生委員・障がい者団体・介護施設・医療関係者・介護関係者等)が月に1回集まり、ワーキンググループに分れそれぞれの課題について取組みを行っている

受託法人 ウエオ：平成29年4月～9月までの取組み調査 22区(濃:H28.8～実施区)		北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	浪速	西淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成	集約	
工 医療・介護関係者の情報共有の支援の取組状況について	1:取組の実施状況 1. 既に実施している(平成29年度以前に実施している) 2. 現時点では未実施だが、実施に向けて準備・調整中(H29年度中に実施予定) 3. 現時点では未実施だが、実施に向けて準備・調整中(H30年度に実施予定) 4. 現時点では未実施(実施に向けた具体的な準備・調整はしていない)	1. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法の検討	1	2	1	1	3	1	2	2	1	2	1	1	1	1	2	3	3	1	1	1	3	3	1. 12区 2. 5区 3. 5区
		2. 現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	4	3	1	1	1	2	3	1. 14区 2. 4区 3. 2区 4. 1区
		3. 地域で充実又は作成すべき情報共有ツールの検討	1	2	1	1	3	1	4	1	1	3	1	1	4	1	3	3	3	1	4	2	4	4	1. 10区 2. 2区 3. 5区 4. 5区
		4. 情報共有ツールの導入や利用促進	1	3	1	1	3	1	4	1	1	3	1	1	1	3	3	4	3	1	4	3	2	4	1. 10区 2. 1区 3. 7区 4. 4区
		5. 4で導入した情報共有ツールの活用状況や効果についての評価や改善	4	4	1	1	3	1	4	4	1	3	3	3	2	3	3	4	4	2	4	3	2	4	1. 4区 2. 3区 3. 7区 4. 8区
	6. その他(工)に該当すると思われる取組(下欄に具体的に記載)	在宅医療を考る会、北区在宅医療連携の情報交換会、訪問看護事業所連絡会、居宅支援事業所連絡会等に参加				医療・介護連携シートの活用で医療機関と連絡がなされている。シートの改善を予定												法人内でIoT検討中、区内病院で統一した情報共有ツールの使用のたのめ意見交換を開催予定	リスト・マップの改訂検討、SNS普及				在宅医療推進委員会の研修会で、情報シートの活用アンケートを実施した		
1:取組の実施状況の項目2～6がいずれも未実施・未着手の理由	4. 他の事業・取組を優先的に実施している																								
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援の取組状況について	1:取組の実施状況 1. 既に実施している 2. H29年度中に実施予定 3. H30年度に実施予定 4. 現時点では未実施	1. 在宅医療・介護連携を支援する相談窓口のニーズの確認	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1. 22区 2. 0区 3. 0区 4. 0区
		2. 相談窓口(相談員)の設置・運営	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1. 22区 2. 0区 3. 0区 4. 0区
		3. 相談受付・支援する人材の育成(研修会の受講や実施)	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1. 18区 2. 2区 3. 1区 4. 1区
		4. 相談員と区内の医療・介護関係者との関係構築	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1. 21区 2. 1区 3. 0区 4. 0区
		5. その他(オ)に該当すると思われる取組(具体的に記載)				連絡会等に出席時は「困っていること」を聞いている。在宅医療を連携する会の発足	チラシの配布・会議への参加・周知						近隣の他区や他県への相談窓口の案内(事業所訪問)					かかりつけ医の紹介、特殊な条件の医師の紹介、多職種連携支援の促進		地域包括ケアシステム構築に向けた研修への積極的な参加					